

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2014年(平成26年)8月 第501号

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

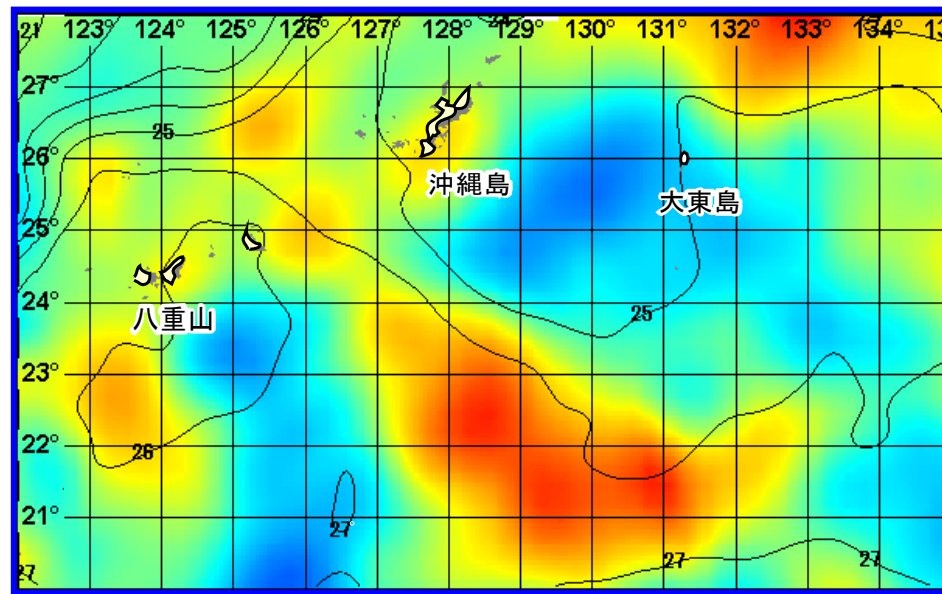


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2014年11月28日)

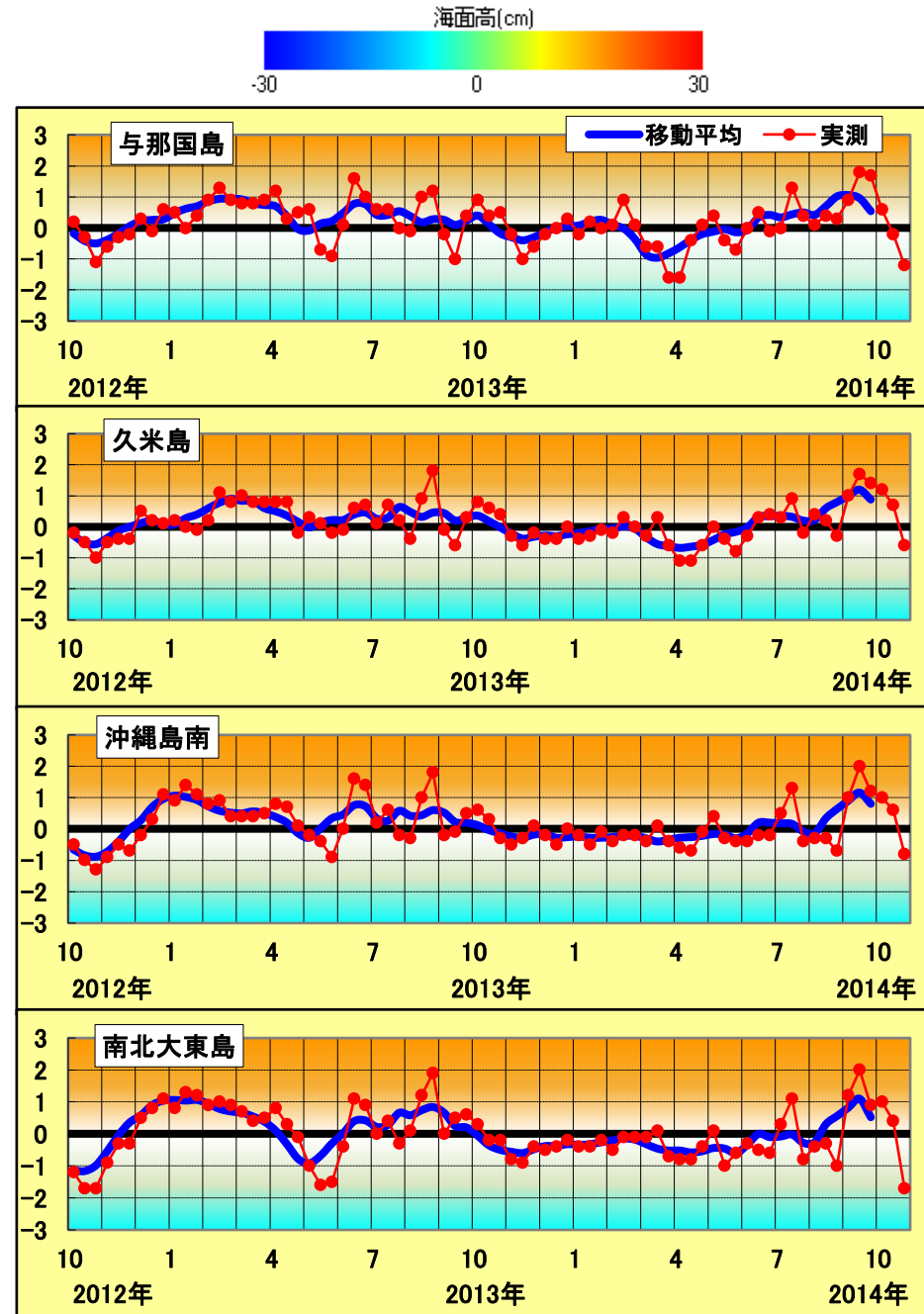


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台;2013年4月1日以降は沖縄気象台)

水温：好天が続いた為10月の海面水温は、上中旬は全般にやや高め～高め(+1.0～1.5℃程度)で推移したが、10月中旬に沖縄島に上陸した台風の影響で急激に水温が下がり、下旬には、大東諸島周辺でかなり低め(-1.5℃以下)、その他でも低めからやや低め(-1.0～-0.5℃程度)となったものの、11月上旬は先島諸島周辺でやや高め(+1.0℃程度)、その他でも平年並み(±0.5℃程度)となった。

今後1ヶ月の表面水温は、12月中旬までの気温が高めと予想されていることに伴って、概ね平年並み～やや高め(±0.5～1.0℃程度)で推移する見込み。

潮流：7月から続いた2つの中規模渦は徐々に衰退する傾向にある模様。一方、北緯23°～24°東経126°～128°付近に北東向けの流れ、北緯23°～25°東経128°～131°付近に南東向けの流れが発生しており、今後かなり強い流れになる模様。

参考資料
・気象庁：沖縄周辺の日別海水温・潮流
・気象庁：海水温海流1ヶ月予報
・沖縄気象台：沖縄県地方1か月予報

10月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	低め
久米島	やや低め
沖縄島南	やや低め
大東島	かなり低め

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではシビ、カツオ、キハダの水揚げが多かった。

表1 8月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.4	0.1	0.0	0.1	0.6	0.6	2.2
クマガキ	0.5	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	5.8
沖サワラ	0.5	0.1	0.0	0.1	0.7	0.1	2.1
カツオ	0.5	0.1	0.0	0.0	0.6	18.7	22.8
キハダ	13.2	1.0	0.8	1.5	16.5	10.5	53.4
シビ	5.4	2.2	0.9	3.3	11.8	25.6	42.1
メバチ	1.1	0.1	0.1	1.1	2.4	0.0	4.8
計	21.5	3.5	2.2	6.1	33.2	55.6	133.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	8.2	70.6
2014年	13.6	22.1	16.5	-	-	52.3

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	9.5	83.9
2014年	5.6	8.3	11.8	-	-	25.7

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	6.2	11.3
2014年	2.5	0.2	0.6	-	-	3.3

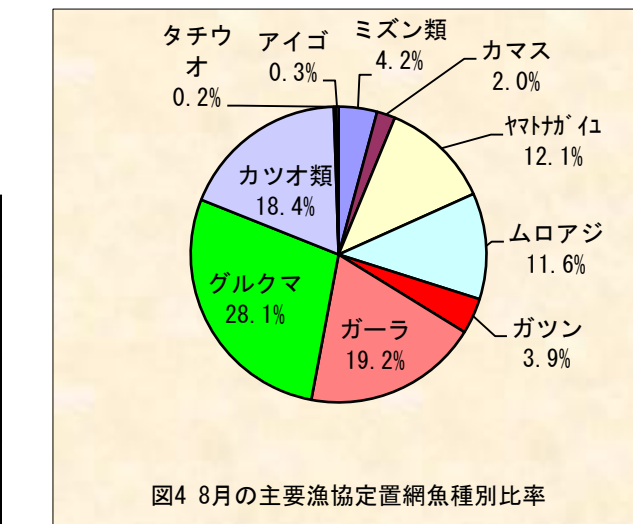
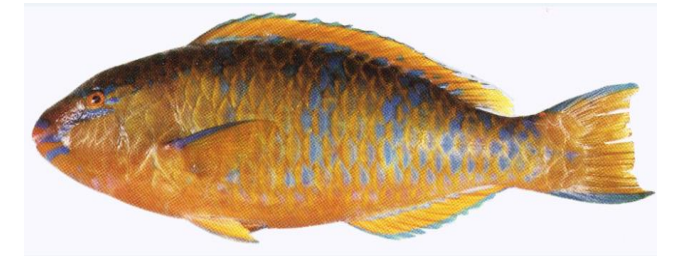


図4 8月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：8月の全体の漁獲状況は、12,292.8kgで先月(21,373.8kg)と比べて減少した。ゲルクマの漁獲が全体の28.1%、ガーラが19.2%、カツオが18.4%を占めた(表5、図4)。



ヒブダイ(アーガイ)

糸満ではキハダが13.2t、シビが5.4t漁獲された。港川ではキハダが1.0t、シビが2.2t漁獲された。知念ではキハダが0.8t、シビが0.9t漁獲された。沖縄市ではシビが3.3t、キハダが1.5t、メバチが1.1t漁獲された。伊良部ではシビが25.6t、カツオが18.7t、キハダが10.5t漁獲された。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

8月のキハダの漁獲量は、16.5tで7月(22.1t)に比べて5.6t漁獲量が減少、昨年(23.9t)と比較すると7.4t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は7月(8.3t)と比べて3.5t増加した(表3)。シイラの漁獲量は7月(0.2t)と比べて0.4t増加した(表4)。

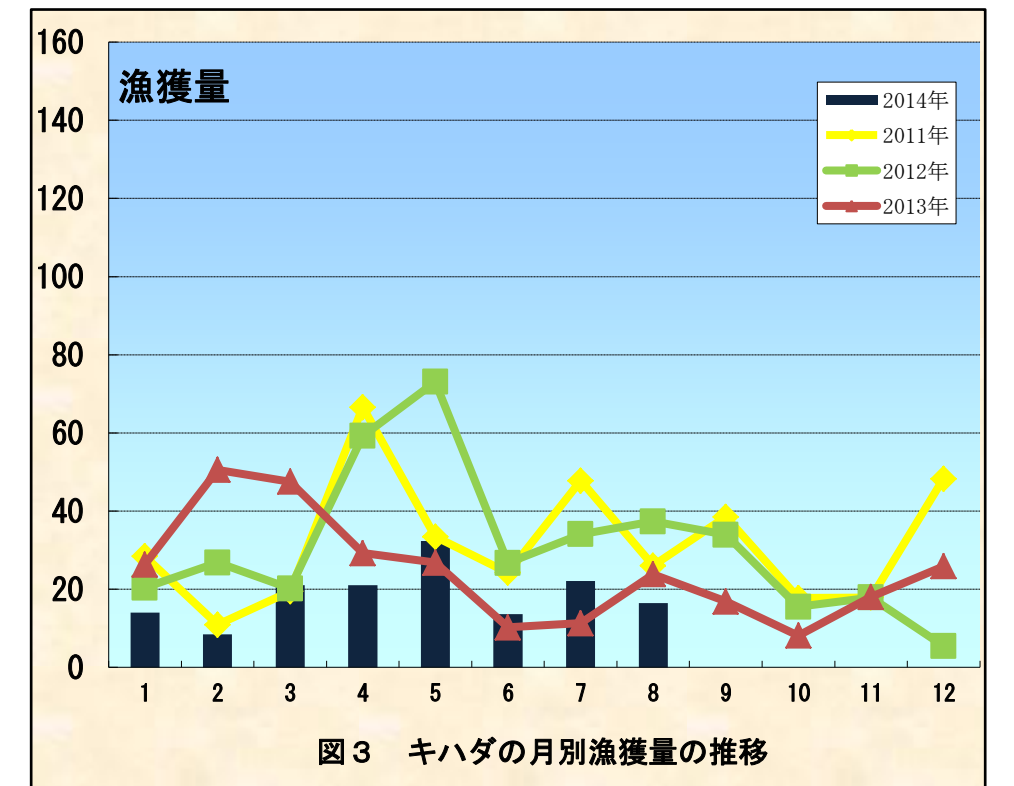


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 8月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	122.9	0.0	0.0	190.0	0.0	153.4	0.0	466.3
カマス	191.1	12.4	0.0	5.4	13.3	1.0	0.0	223.2
ヤマトカゲ	298.1	1,036.3	0.0	1.1	3.8	0.0	0.0	1,339.3
ムロアジ	1,287.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,287.7
ガツン	252.4	107.0	0.0	19.2	7.5	48.1	0.0	434.2
ガーラ	1,787.1	171.5	0.0	40.1	99.0	29.2	0.0	2,126.9
ゲルクマ	2,822.6	207.2	0.0	40.8	9.0	36.8	0.0	3,116.4
カツオ類	1,726.8	58.6	0.0	261.0	0.0	0.0	0.0	2,046.4
タチウオ	9.1	8.6	0.0	0.6	2.1	1.3	0.0	21.7
アイゴ	1.5	0.0	0.0	3.0	31.3	0.3	0.0	36.1
合計	8,499.3	1,601.6	0.0	561.2	166.0	270.1	0.0	11,098.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。